

その いづみの園だより'59

2013.12.5

クリスマス号



Since 1978

それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは愛である。コリントの信徒への手紙Ⅰ13:13

社会福祉法人 九州キリスト教社会福祉事業団
中津総合ケアセンターいづみの園

基本理念

神と人とに仕えるキリスト教の愛と奉仕の精神を基本理念とする

①アメニティ(快適主義) ②ヒューマニティ(人間主義) ③ローカリティ(地域主義)

〒871-0162 大分県中津市永添 2744 TEL0979-23-1616 代

<http://www.izuminosono.jp> E-mail:sogocare@deluxe.ocn.ne.jp

ISO9001認証取得



2002年3月26日
高齢者介護及び
リハビリテーションサービス



ヨハネ館中庭

「お言葉どおりになりますように」



社会福祉法人 九州キリスト教
社会福祉事業団

理事 多田 玲子

す。

毎年クリスマスの時期になると、グレース保育園のお遊戯

会のことと思い出します。4歳児は恒例として、ページェント『聖誕劇』をいたします。イエス様誕生の予告場面で、天使がマリアのところに現れて「あなたは男の子を産みます、その子は神の子です、イエスと名付けなさい」と告げます。

マリアは「お言葉どおりになりますように」と答えます。このマリアの返答に、言葉では表現できない程の重いものを感じるのです。マリアは手放しで喜んだわけではありません。ヨセフと婚約していたし、結婚していないのに子供を産むということは「ふしだらな女」としての汚名を負わされることにもなるのです。ましてや『崇高な方の子』を産むことの責任の重さ。マリアにとつてはあまりにも荷が重すぎたに違ひありません。このことから逃げたいと思ったかもしれません。しかしマリアは「わたしは主のはしためです、お言葉どおりこの身になりますように」と神様を信頼し受け止めようと一大決心をしたのです。

私たちも、一生の中に大なり小なり人生の分かれ道に、立たされることがあります。今年、いづみの園は創立35周年を迎えました。私たちにとって大きな喜びです。いづみの園の創立当初のことを思い出します。法人としてこの事業を進めるべきか、思い留まるべきかの岐路に立たされました。事業を進めるには、あまりにも荷が重かつたからです。しかし、高齢者の悲惨な現状を知つて、見過ごすことはできませんでした。そこで全面的に神様を信頼し、お委ねすることで歩み始めました。その決心がついた時から、不安や迷いから解放され、喜びや希望へと変えられました。

力ある神は、大いなることをわたしになさいました。この神は聖なる方、人の痛みを知るその心は、代々、神をおそれ敬う人たちに向けられます。

本田哲郎『小さくされた人々のための福音』「マリアの賛歌」より

2013年度新任期理事会・評議員会開催

2013年度新任期（理事・監事 2013年9月6日～2015年9月5日、評議員 2013年8月18日～2015年8月17日）による最初の理事会・評議員会が11月25日（月）に開催されました。

8月と9月にそれぞれの任期満了を前に、評議員会については8月8日の第2回評議員会で理事の全員再任、監事については1名の再任及び1名の辞任を承認し、同日開催の第2回理事会では現評議員の全員再任と欠員1名につき藤吉文佳氏の選任が承認されました。

なお、その際、組織の一部改正でチャップレン室の設置が承認されました。
また、9月3日第3回理事会において、理事長の選任があり、富永健司理事が理事長に再任、理事長職務代理者として第1位に齊藤昭夫理事、第2位に廣安慎太郎理事が指名されました。

*

前記の役員等の改選を経て、新任期を迎えた評議員

会（同年度第3回）と理事会（2013年度第4回）が11月25日（月）10時30分と13時からいづみの園「地域交流ホームいづみ館」で開催されました。

議案として、まず、評議員会で新監事として（社福）ややま福祉会理事長 金枝豊治氏が選任されました。

次に理事会において、かきせサポートセンターに建設を予定する「福祉の里センター・サマリア館」の交付金申請に関する件など6件が審議され、理事会で承認されました。

さらに、報告事項として①保育園の指導監査結果、②「いづみの園」ユニットリーダー研修実地研修施設指定、③「めぐみ保育園」増築工事の進捗状況 等の報告を行いました。

以上、新任期の最初の理事会・評議員会の報告とさせていただきます。

【理事長としてのご挨拶】

理事長に再任いたしましたが、理事・評議員の皆様のご指導をいただき、社会福祉法人としてやる気と公益性を役割として、職員と一致協力して5年後、10年後を考え、事業を展開していくたい。キリスト教主義の基本的なところを踏まえ事業を進めています。



【理事・監事・評議員名簿】

（2013年11月25日現在）

監事	河村 賢吾
理事長	富永 健司
理事	島田 晋

監事	木村 大継
評議員	池上 池上
理事長	金枝 豊治（新）
理事	多田 真一

監事	東島 勇気
評議員	滝口 齊藤 昭夫
理事長	高幸 高幸
理事	橋本 滝口

監事	廣安慎太郎
評議員	山口 貞嘉
理事長	稻益 一男
理事	河村 齊藤

監事	藤吉 東島
評議員	野村 多田
理事長	出納 齊藤
理事	河村 齊藤

監事	森 分直樹
評議員	橋本 高幸
理事長	廣安慎太郎
理事	高幸 健司
監事	久 木
評議員	滝口 真伍
理事長	木村 武夫
監事	大継 徹朗
評議員	滝口 信也
理事長	池上 伸也
監事	島田 田邊
評議員	木村 池上
理事長	金枝 信也
監事	東島 多田
評議員	滝口 齊藤
監事	廣安慎太郎
評議員	稻益 一男
監事	河村 齊藤
評議員	森 分直樹
監事	橋本 高幸
評議員	高幸 健司
監事	久 木
評議員	滝口 真伍
監事	木村 武夫
評議員	大継 徹朗
監事	池上 伸也
評議員	島田 田邊
監事	金枝 信也
評議員	東島 多田
監事	滝口 齊藤
評議員	森 分直樹

※稻益一男評議員は11月26日ご逝去されました。
これまでの当法人はじめ福祉への真心こもるご支援に改めてお礼を申し上げるとともに、ご冥福をお祈りいたします。

（法人本部事務局）

2013年度分から、社会福祉法人の財務諸表の公開が義務になりました

2013年6月14日の閣議において、「規制改革実施計画」が決定され、その中で「社会福祉法人の経営情報の公開」が盛り込まれました。

当法人では、監事監査報告書を除く財務諸表を、2013年6月よりホームページにて公開しており、11月より監事監査報告書を含め公開をしています。

ホームページ：<http://www.izuminosono.jp/> → 「法人について」→「組織・組織図・業務及び財務情報」よりご覧になれます。

人事関係

2013年8月17日以降

1 異動

- 9月1日付 山下 裕子 看護課 看護師
東 久美 リハビリ課 歯科衛生士
- 10月1日付 河野 直美 クリニック 看護師
中島有芽美 グループホームベテルハウス 介護員
- 11月1日付 吉川 太志 財務・管理課 事務員
松井 幸子 マリアガーデン 保育士

2 新採用

- 8月22日付 仲島 靖泰 介護課 介護員
訪問介護課 ホームヘルパー
- 9月1日付 甲斐多恵子 介護課 介護員
岡元なつみ 介護課 介護員
- 9月9日付 小島左姫子 ふれあい館 介護員
9月23日付 宮本 愛子 リハビリ課 理学療法士
- 10月22日付 居倉 央実 地域包括支援センター 社会福祉士
11月1日付 佐田 幸 訪問看護課 看護師
- 11月5日付 佐田 幸 （2013年11月30日まで）

共生事業 －福祉の里センター構想－



かきせサポートセンター
セントラル長 豊田 毅士

「いづみの園かきせサポートセンター」では、「デイサービスセンターかきせ」「日中一時支援事業所マルコ」の事業を行っている旧グレース保育園の建物が建築以来40年を迎えることもあり、建て替えを検討しています。建て替えに際して、新規中津市長も言われる「福祉の里づくり」の一翼を担う事業として「福祉の里センター」として事業開始するよう準備をしています（11月25日の理事会で承認された議案）。

この検討は2011年6月から開始し、先にあげた2事業所だけでなく、子育て、高齢者、障がい者、地域住民が集まる共生型としての運営を事業コンセプトとしています。介護保険事業では地域包括ケアシステム、介護予防拠点などを検討しています。障がい福祉ではインクルージョンサービス、働く場、地域での居場所づくり、就労継続支援事業所の分所等を開設する構想としています。子ども子育て分野では次世代育成・地域の文化を次世代にとってプレールーム、子育ての拠点となる事業を構想しています。地域住民では中津市福祉の里づくり市地域福祉計画での思いやり溢れ安心して暮らせる街をコンセプトに多目的ホール、会議室、自習室、文化伝承スペースや多目的広場、公園も作り広く他世代の方が利用できる施設にできるよう検討しています。

本年9月から最終的に、理事長や関係部長・課長での立ち上げ準備チーム

を編成し、中津に必要なもの、蛎瀬地区にあつたら良いもの、人が集まる場所にするためにはどうすればよいかなどを見学に行つた熊本県、佐賀県、杵築市、豊後高田市などの例を参考に検討しています。事業を開始するためにさうなる検討は必要ですが、福祉の里として住みやすい中津市を目指し、社会福祉法人として地域社会へ貢献できるよう今後も取り組んでいきます。



福祉の里センター イメージ図



特養事業部介護課
課長 野見山 晃

2013年7月22日、「一般社団法人 全国個室ユニット型施設推進協議会」が行うユニットリーダー研修実地研修施設選定調査を受けました。これは、各施設でユニットケアを行う際に必要な「ユニットリーダー」を養成するための実地研修施設としてふさわしい施設であるかの調査を行うもので、調査対象は個室ユニット型であるヨハネ館4ユニット40床、調査項目は全部で29項目に及びました。

調査の主な内容としては、ハード面（建物の構造や設備、しつらえ）ソフト面（ケアの内容や方法とその目的）システム面（会議や研修、研修生の受入れ）があり、調査員2名での現場確認及びリーダーや常勤職員への直接質問並びに必要書類の確認などの方法で行われました。

8月28日大阪で行われた「実地研修施設選定合否説明会」において合格の通知を頂き、当施設を

含め実地研修施設は全国で19施設となりました。大分県では第1号の施設となり、今年12月より研修生の受け入れをはじめます。

研修生を迎えるにあたり、私たち職員一人ひとりが高い意識を持ち、「いづみの園に研修に行つてよかったです、いづみの園のケアは良かつた」と感じていただけるよう、ユニットケアの基本である「家庭的な環境の中で施設においてもできる限り住み慣れた在宅での生活が継続できるよう配慮しながら、ご利用者お一人おひとりの個別ニーズを把握し、それに沿った支援を行っていく」という考え方を再認識すると共に、施設全体でご利用者お一人おひとりの気持ちに寄り添い、「その人らしい生活の実現」を目指していきたいと思います。



選定調査の様子

中間管理職講座課長篇の中間まとめが行われました。

トパーク」で行われました。

富永理事長の全体講評のあと、「私の企業経験

と社会福祉法人経験から」と題して「住吉浜リゾートパーク」の釣宮浩三園長による講義が行われ、トパークの釣宮浩三園長による講義が行われ、会福祉法人博愛会が経営する「住吉浜リゾートパーク」についての話を聞くことができました。

今後中間管理職講座は、2014年3月まで、「役に立つ講座Ⅱ（主任篇）」と合同で後期の講座が行われます。この講座の詳細について、次号でお知らせする予定です。

ユニットリーダー研修実地研修施設に認定されました

「いづみの園かきせサポートセンター」では、「デイサービス

センターかきせ」「日中一時支援事業所マルコ」の事業を行つて

ている旧グレース保育園の建物が建築以来40年を迎えることもあり、建て替えを検討しています。建て替えに際して、新規中津市長も言われる「福祉の里づくり」の一翼を担う事業として

「福祉の里センター」として事業開始するよう準備をしていま

す（11月25日の理事会で承認された議案）。

この検討は2011年6月から開始し、先にあげた2事業所だけでなく、子育て、高齢者、障がい者、地域住民が集まる共生型としての運営を事業コンセプトとしています。介護保険事業では地域包括ケアシステム、介護予防拠点などを検討しています。障がい福祉ではインクルージョンサービス、働く場、地域での居場所づくり、就労継続支援事業所の分所等を開設する構想としています。子ども子育て分野では次世代育成・地域の文化を次世代にとってプレールーム、子育ての拠点となる事業を構想しています。地域住民では中津市福祉の里づくり市地域福祉計画での思いやり溢れ安心して暮らせる街をコンセプトに多目的ホール、会議室、自習室、文化伝承スペースや多目的広場、公園も作り広く他世代の方が利用できる施設にできるよう検討しています。

本年9月から最終的に、理事長や関係部長・課長での立ち上げ準備チーム

を編成し、中津に必要なもの、蛎瀬地区にあつたら良いもの、人が集まる場所にするためにはどうすればよいかなどを見学に行つた熊本県、佐賀県、杵築市、豊後高田市などの例を参考に検討しています。事業を開始するためにさうなる検討は必要ですが、福祉の里として住みやすい中津市を目指し、社会福祉法人として地域社会へ貢献できるよう今後も取り組んでいきます。

経営企画室
課長 末延 政光

いづみの園2013年度の重点項目の一つに「管理職の育成研修の実施」が挙げられ、前号（58号）で開始をお知らせしていました「みんなで学ぶ中間管理職講座Ⅰ（課長篇）」の中間まとめが、9月27日（金）から28日（土）にかけて、大分県杵築市にある「住吉浜リゾートパーク」についての話を聞くことができました。

今後中間管理職講座は、2014年3月まで、「役に立つ講座Ⅱ（主任篇）」と合同で後期の講座が行われます。この講座の詳細について、次号でお知らせする予定です。

いずみの園 広場

ひろば

娘の友紀子が、「ワークセンターシャローム」にお世話になるようになります。最初は不安でしたが、毎日笑顔で出かけて、笑顔で帰宅しております。

帰宅すると、制服を洗濯カゴに入れて、そして次の制服を、自分なりに畳んで（少しよれていますが）いそいそと準備をしています。自閉症の子で言葉もなく、意思疎通もなかなか難しい子ですが、子どもなりに居心地が良いと思つたのでしょう。数ヶ所の施設を利用させていただきましたが、本人にはあわなかつたらしく、こんな笑顔で過ごしているのは初めてです。安心できる施設に出会つたようです。

今から約三十年前、「グレース保育園」にお世話になり、わが娘が喜んで通うこのように人を大切にする障がい児者の施設があればと思つていましたから。

職員の皆さんは大変だと思いますが、親の私のことまで心配りをして頂き、親子共々に支えてもらっていると感じています。まだまだ出来ることが少なくてお世話になるばかりですが、これからもよろしくお願ひ致します。健康に気をつけて親をしていきたいと思います。



シャロームでの友紀子さん（利用者）

ご利用者ご家族の声

（多機能型事業所）

ワークセンターシャローム

林田友紀子様のご家族

林田はるか 様

娘の友紀子が、「ワークセンターシャローム」にお世話になるようになります。最初は不安でしたが、毎日笑顔で出かけて、笑顔で帰宅しております。

我が子が「マリアガーデン」に通いはじめて1年4か月が経ちます。通い始めのころは5名だった園児も今は14名になりました。元気で活発な園児たちが、毎日元気で元気です。「マリアガーデン」はアットホームな雰囲気で子ども一人ひとりの個性を大切にしていると感じ、とても温かみがあります。子どもの体調不良時にはすぐに連絡がきて様子を見に来てくれる為、安心して働ける環境です。また、鬼塚先生や岩水先生の定期検診を受け健康面でも安心がもてます。

毎月の誕生日会やクリスマスなどのイベント、入居者の方と芋掘りや野菜作りなどたくさん行事をしてくださり、子どもも毎日活き活きして登園しています。なによりも高齢者との関わり合いが深く、親としても素敵なお経験だと感じています。各部署の職員からも声をかけていただき、いずみの園の皆様から可愛がつて頂き、人見知りだった子も今ではぐんと成長しました。仕事と子育てが両立できる環境にあることにとても感謝しています。



マリアガーデン
高西 悠真（はるま）くんのお母さん
高西 真未子 様

事業所内保育施設利用園児父母の声



悠真くんとお母さん（マリアガーデン）